

教育総合研究叢書第4号に寄せて

教育総合研究所では今年度「単位制と学習成果を活用した学位の質保証システム構築に向けての研究」(研究代表者:濱名篤学内研究員)、「中等教育における情報教育の実態と高等教育でのIT基礎教育の要件に関する調査研究」(研究代表者:山下泰生学内研究員)、「配慮の必要な子どもたちの二次的障害を予防するための縦断的・横断的研究」(研究代表者:中尾繁樹学内研究員)、「絵本活用の可能性」(研究代表者:林鎮代学内研究員)の4つの研究プロジェクトが実施された。

関西国際大学には1998年の開学以来高等教育研究所が設置されていたが、教育学部の発足に伴い、初中等教育を研究対象とする先生方が研究員に加わったことと、現代日本の教育現象を広く研究対象とする目的から、名称を教育総合研究所に変更して4年目になる。今年度の研究プロジェクトは、高等教育、中等教育はもちろん、幼児教育に関するものも実施され、ようやく教育総合研究所という名称にふさわしい研究活動が展開されつつあるといえることができる。

この叢書にはその他にも、高等教育及び幼児教育に関する個人研究の成果も収められている。多忙な日々のなかでも活発な研究活動を展開された学内研究員、学外研究員、その他研究所に関係してくださった皆様に心からお礼を申し上げたい。

2011年3月

所長 濱名 陽子